



本内容の報道は会見終了後まで  
お控え頂きますようお願い申し上げます。

平成 28 年 10 月 24 日



## 産業科学研究所 定例記者会見 (第 40 回)

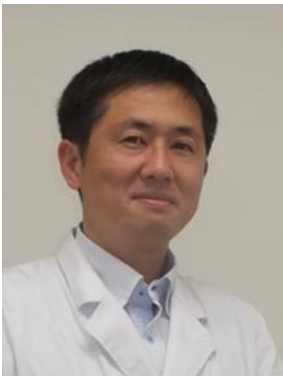
【10月26日(水)@大阪大学中之島センター(2F 講義室 201)】

### ❖ 概要および発表内容

大阪大学産業科学研究所(産研)では、毎月の定例記者会見を実施しております。産研は文字どおり「産業に生かす科学」を目的として、「材料」、「情報」、「生体」および「ナノテクノロジー」の領域において基礎から応用に至る広い分野で研究・教育を推進し、そして産学連携への貢献を目指しています。記者会見では、最新の研究動向、成果、今後の発展等について、わかりやすく情報を発信します。第40回の定例会見を以下のとおり実施しますので、ご参加ください。

【開催日時】10月26日(水) 15時00分から

【開催場所】大阪大学中之島センター2F 講義室201



開発 邦宏

かいまつ くにひろ  
産業科学研究所  
医薬品化学研究分野  
特任准教授(常勤)

(同席)

田中 伸幸  
たなか のぶゆき  
株式会社プロテクトピア

### 【発表】 空間中のウイルス・細菌を不活化する 新カテキン技術を開発！

大阪大学産業科学研究所開発邦宏特任准教授(常勤)らのグループは、大阪大学の技術を活用したベンチャー(株)プロテクトピアとの共同研究により、**ウイルスや細菌を安全かつ効果的に不活化できる技術の開発に成功しました。**

私たちの生活空間にはウイルスや細菌が潜んでいます。例えば、家族の一人が感染症に罹患すると、くしゃみ、唾液、体液を介した二次感染を避けるのは難しく、マスクの装着や手洗いなどで、接触機会を防ぐことが不可欠です。

我々のグループでは、これまでウイルスや細菌の膜成分に作用し、感染を抑制できる新型カテキン化合物を開発してきました。

しかし、カテキン骨格をもつ化合物は水溶液中で安定性を保つこと、さらに化合物の安定性を高めると活性が低減してしまうことが課題でした。今回、カテキン骨格の安定性と抗ウイルス・抗菌活性の両方を高める技術を開発することに成功しました。

この技術が開発できたことにより、感染対策用に超音波式加湿器に入れて使用するミストマスクが製品化されました。

空間に存在する病原体を直接不活化することができれば、二次感染をより効果的に予防することが可能になります。



図 1.製品化されたミストマスク

当日はミストマスクのサンプルと共に説明いたします。